国際ロータリークラブ第2730地区 日南ロータリークラブ







継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30~ 例会場 ホテルシーズン日南 住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間

第 3347 回例会					No.10	2023. 09.	20	晴れ		
点鐘・国歌・ロータリーソング				12時30分 「国歌」 「奉仕の理想」						
四つのテスト・ロータリーの目的				豊田裕康 君						
ゲ	ス		1	国際ロータリー第 2730 地区 池ノ上 克ガバナー (宮崎 RC) 国際ロータリー第 2730 地区南部G 坂本哲夫G補佐 (日南中央 RC)						
ビ	ジ	タ	_		黒木勇人 君	t(宮崎 RC)長友	秀一 君(百	宮崎 RC)		
例	숲	行	事	ガバナー公式訪問例会						

会長時間

本日は現在の地球にとって最大の問題となっております地球温暖化の話をしたいと思います。まず温暖化の原因となっているガスには様々なものがあり、中でも二酸化炭素はもっとも温暖化への影響度が大きいガスです。産業革命以降、化石燃料の使用が増え、その結果、二酸化炭素の濃度も増加しています。

現在、地球の平均気温は14度前後ですが、もし大気中に水蒸気、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスがなければ、マイナス19度くらいになります。太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めているからです。近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

IPCC (国連気候変動に関する政府間パネル)第4次評価報告書によれば、温室効果ガス別の地球温暖化への寄与は、二酸化炭素76.7%、メタン14.3%、一酸化二窒素7.9%、オゾン層破壊物質でもあるフロン類1.1%、となっています。つまり、石油や石炭など化石燃料の燃焼などによって排出される二酸化炭素が最大の温暖化の原因といえます。この二酸化炭素濃度は、産業革命前1750年の280ppmから2013年には400ppmを超え、実に40%以上も増加しており、IPCCでは、大気中の二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は過去80万年間で前例のない水準まで増加していると報告しています。IPCC第6次評価報告書によると、世界平均気温は工業化前と比べて、2011~2020で1.09度上昇しています。また、陸域では海面付近よりも1.4~1.7倍の速度で気温が上昇し、北極圏では世界平均の約2倍の速度で気温が上昇するとしています。特に最近30年の各10年間の世界平均気温は、1850年以降のどの10年間よりも高温となっています。中でも1998年は世界平均気温が最も高かった年でした。2013年には2番目に高かった年を記録しています。

しかしながら今年残念なことに、1998年の記録を更新し地球史上最高の平均気温を記録しています。日本では、今年猛暑を超える沸騰という言葉が使われるようになったのは記憶に新しい所です。その猛暑日が増える事で心配なのが熱中症です。厚生労働省が発表した「熱中症による死亡数 人工統計調査」によると、2020年に熱中症で亡くなった人の数は1528人でした。これは、25年前に比べるとおよそ5倍に当たります。このまま地球温暖化が進むと子供たちは安心して外で遊ぶ事ができなくなってしまうかもしれません。今後、温室効果ガス濃度がさらに上昇し続けると、今後気温はさらに上昇すると予測されています。

IPCC第6次評価報告書によると、今世紀末までに3.3~5.7度cの上昇と予測されています。温暖化が進むとまず、自然への影響が出ます。海面の上昇や台風の巨大化、豪雨、森林火災などさまざまな自然災害を引き起こしています。地球温暖化によって気温が高くなると、北極圏の氷河が溶けたり海洋が膨張したりして海の水が増えます。海の水が増えると、周りよりも低い地域にある国や地域は、海に飲み込まれて沈んでしまうかもしれません。

海面上昇の犠牲になっている国は、モルディブ諸島、チャゴス諸島、ツバル、キリバス、マーシャル諸島、トケラウなどがあげられる。これら多くの沿岸地域で浸水が確認されていて、その高さは数10cmにも及んでいます。特にツバルの浸水被害は深刻でツバルの環礁島(環の形の珊瑚礁で形成される島)である「フナフティ」では海水の浸食が進んでヤシの木が倒れてしまっています。陸地が狭くなると住める場所も少なくなりますが、ツバルの人口は増加傾向。やむを得ず、海岸付近に居住している人も多いのが現状です。また地球温暖化が進むと、海の水が温かくなり、水蒸気の量も増えます。水蒸気の量が増えると雨雲が発生しやすくなり、雨の量も増えると考えられています。豪雨による洪水や土砂崩れ、地滑りの発生が心配されています。台風の巨大化も心配される所です。

最近、日本でも雨量が過去最高だとか想定外の雨、50年に1度の大雨、経験したことのない雨、とかいう表現を耳にするようになりました。線状降水帯という言葉も昔は聞かなかったように思います。日本で地球温暖化の影響を一番実感するところです。一方で弱い雨が降る日は少なくなるとも言われます。雨が降らない日が続くと、水不足が起こります。必要なときに十分な水が得られず、生活に必要な水や農作物を育てるための水が足りなくなってしまうかもしれません。

また、今年は世界各国で森林火災が数多く発生しています。ハワイのマウイ島、ギリシャ、カナダ、どれも大規模な森林火災となり犠牲者も増えています。これも温暖化がもたらした悪影響の一つです。温暖化が進むと、日本はさらに暑い国になり、春と秋は短くなります。このまま気温が上がり続けると、人間や生物の健康にも様々な影響が出てしまいます。

「地球温暖化で北極の氷が減って、2100年までにホッキョクグマが絶滅する」というニュースを見たことがある人もいるかもしれません。寒い地域の氷が溶けると、眠る場所や食べ物がなくなり、動物たちはこれまで住んでいた場所で暮らすことができなくなってしまいます。

農作物にも被害がでます。気温が高くなったり雨の量が増えたりすることで、お米や野菜、果物の生産量にも影響が出るといわれています。また、異常気象によって農作物がうまく育たず、品質や味も悪くなってしまいます。このまま地球温暖化が進むと、世界中で食べ物が採れなくなってしまうかもしれません。

又、地球の気温が高くなると、これまで暑い地域で発生していたデング熱やジカ熱、マラリアなどの病気を運ぶ虫が世界中を飛び交うようになります。温暖化が進むと蚊の寿命が延びるともいわれており、病気にかかる確率が高まります。このまま何もせずに放置することは私達の子孫にツケを残す事になりかねません。

また、地球は人間だけのものでもありません。病気の蔓延により発展途上国の痩せた子供たちが今以上になくなってしまうでしょう。私達ができる地球温暖化対策として節電、節水、また日南では現実的ではありませんが、なるべく車に乗らずに公共交通機関を使う、レジ袋を使わずマイバッグを使用するなどして少しでも二酸化炭素の排出をへらして次の世代にバトンを渡す事が私達の義務として活動していきたいものです。

幹事報告

- 1. 2023-24 年度ロータリー奉仕デー「海岸美化プロジェクト」海ごみ問題 国際ロータリー・3 地区共同 BIG 対談コロキウムについて
- 2. 地区職業奉仕委員会研修について 別紙、ご案内のとおり開催されますので出席方、よろしくお願いいたします。
- 3. ハワイ州マウイ島山火事への支援について、ガバナー会事務局を通じて、支援要請がありました。 当地区においても、被災地支援に協力することとなりましたので、理事会において支援額等の協議を行い支援することと致します。
- 4. 秋田豪雨災害支援に対して、9/12 義援金(10,000円)を送りました。
- 5. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま282号」が届いております。

スマイル

坂本哲夫君(ガバナー補佐) 本日はお世話になります。

井野畑善順君 先日、峰松Drに頭部のMRI検査を行って頂きました。結果、認知症の目安となる「海馬」はしっかり詰まっているので、もうしばらく認知症は大丈夫でしょう! との事、ホッとしました。 ありがとうございました。

峰松俊夫君 池ノ上克ガバナーは、私が日南に住む切掛けを作ってくださった恩人です。日南ロータリー

例会行事ガバナー公式訪問例会



国際ロータリー2730地区池ノ上克ガバナー(宮崎RC)アドレス

国際ロータリー2023-2024年度ガバナーの池ノ上克(つよむ)です。

私は昭和21年1月に鹿児島市内で生まれました。生後3ヵ月の時、父の仕事の関係で移住した長崎県で高校までを過ごしました。

昭和39年に鹿児鳥大学医学部に入学し、市内の西千石町にあった母の実家から通学をつづけ、昭和45年に卒業しました。その後は鹿児島市立病院の産帰人科に勤務して

いました。その間3年半はカリフォルニアの大学での周産期医学の勉強のために留学しましたが、合計26年間の鹿児島生活を送ったことになります。平成3年に縁あって当時の宮崎医科大学産婦人科に赴任しましたが、それ以来宮崎で仕事を続けています

この度、山ノ内文治直前ガバナーの後を受けて、国際ロータリー第2730地区のガバナーに就任しました。 どうぞよろしくお願いいたします。

新たに国際ロータリーの会長に就任したスコットランドのゴードンR.マッキナリー会長は、今年度の国際ロータリーのテーマを「Create Hope In The World:世界に希望を生み出そう」とされました。

アメリカのフロリダ州オーランドで2023年1月8日から12日にかけて行われた国際ロータリー協議会の初日の講演で、このテーマが力強く宣言されると会場につめかけた世界中のロータリー関係者はスタンディングオベーションでこれを受け止めました。

講演の中で、ゴードンR.マッキナリー会長は、2004年に東南アジアを襲った大津波の時被害を受けたタイの村で、ロータリアンとして復興作業に当たられたそうです、全てを失なって憔悴した老婦人から、「皆さんの作業を見ていて、生きる希望が湧いてきました、御礼に私が30年来大切にしてきたものを差し上げます。」といって美しい貝殻を渡されたそうです。その貝殻は美しい光を放っており、その美しさが今年度の国際ロータリーのテーマカラーに繋がったと説明されました。

そして、テーマとなった「世界に希望を生み出そう」の言葉もそこから生まれて来たのだそうです。

さらに、ゴードン R. マッキナリー会長は希望を生み育てる土壌は「平和」であり、「メンタルヘルス」の維持はその原点となるもので、私たちはメンタルヘルスの問題に積極的に取り組む勇気が必要であるとも強調されました。

自然災害や戦禍にみまわれ、つらい思いをしている世界の人々にとって、希望を生み出すことの大切さが 強調された講演でした。幸いにもその時会場に居合せた私はとても感動してお話を聞くことができました。

ゴードンR.マッキナリー会長のRIのテーマを受けて、私たちの国際ロータリー第2730地区の今年度のテーマは、「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」としました。

また、基本方針はロータリーの「継続と変化」及び「メンタルヘルスの取り組み」を二本柱としました。 ロータリーは「継続と変化」を基本にして、常に前に進んでいます。私たちの地区の各クラブや各グルー プの活動も「継続と変化」および「メンタルヘルスの維持」を基本に、ガバナー補佐の方々との連携を密に して、それぞれに独白の形で進めていただきたいと期待しています。

「継続と変化」の対象になる主な項目には、ローターアクトクラブとの協力体制の強化、女児のエンパワーメント、DET の推進、ポリオ根絶などが挙げられます。

そして、その行動計画の実行については、各クラブやグループのこれまでの経緯と成果があると思われますので、それを引き継ぎながら、最近の社会的変化に応じた活動を目指していただきたいと思います。クラブが独自に計画して実行しておられるプロジェクや、米山記念奨学会への寄付、青少年育成、公共イメージの向上、クラブ奉仕の強化、社会奉仕の実践などが含まれます。ロータリー賞獲得への横極的なチャレンジも期待したいと思います。

メンタルヘルスについては ゴードン R. マッキナリーRI 会長がロータリーに向けて初めて示された取り組みです、RI 2730 地区としても活動を始めたいと思います。自分自身や社会の中におけるメンタルヘルスに関する偏見をなくし、同僚や親しい人に何か心の異変を感じたら、支援の手を差し伸べる勇気をお互いに持ちたいと思います。メンタルヘルスの健全性とその維持は希望を生み出す原点となるものです。

皆様のご支援を頂きながら、2023-2024年度は平和を求め、希望溢れる明るいロータリーライフにしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率		
今 週	30	8 (4)	26	22	0	4	22	84.61%		
出席免除	清水、野﨑、古澤、渡邊									
先取MU										
欠 席	菊池、齋藤	蔡(奈々)、中	山、村社							

クラブフォーラム



斉藤篤史君 クラブ奉仕への取り組み状況と意識について

私は日南ロータリークラブの奉仕への取り組み状況と意識について発表します。 当クラブで奉仕プロジェクト委員会として四つの委員会があります。(職業奉仕委員会)、(社会奉仕委員会)、(国際奉仕委員会)、(青少年奉仕委員会)です。

職業奉仕の活動実績として昨年度は実に4年ぶりに職業奉仕賞(翡翠賞)の表彰を行いました。翡翠賞の選考は社会貢献活動の顕著な団体もしくは個人となっております。また、職業奉仕月間に職場訪問を実施しております。

社会奉仕の活動は毎年道路愛護デーに合わせて環境美化活動(道路清掃)を行っております。

国際奉仕は当クラブと姉妹クラブを締結している釜山港都RCとの親善関係です。今年度は当クラブが70周年ということもあり、式典参加予定の釜山港都RC来訪のため準備を進めております。当日は姉妹クラブの盟約延長の締結も行う予定です。

青少年奉仕については特に力を入れております。 直近で言いますと9/2に4年ぶりに高校生就職支援セミナーを開催いたしました。この事業は就職試験を控えた生徒を対象に実践さながらの模擬面接を実施しております。それと講師に来ていただき、「社会人としての心構え」について講演も実施いたしました。学校側からは、経営者からの立場での意見はありがたいと意見を頂いております。

次に「わかば奨学会」です。これは当クラブ50周年を記念して始まりました。先ほども言いましたように今年度70周年を迎えます。「わかば奨学会」は20周年を迎えます。これまでの奨学生は100名弱になりました。目的は地域の優秀な人材を育成することと、進学、社会貢献に意欲を持つ生徒を援助することです。奨学生からはお礼の手紙を頂きました。

「これからは、社会で働く中で色々なハードルが待ち受けていると思います。

そんな時は、ロータリーのみなさまに支えていただいていることを忘れずにしたいと思っています。そして 皆様のような社会に貢献できるような大人になりたいと思います。」

20周年にはこれまでの奨学生をお呼びして交流会を開催する予定です。具体的には、これまでの奨学生を数 名お呼びして「将来の夢について」をテーマにスピーチをしていただきます。

「わかば奨学会」は地区の補助金を利用させていただいております。この場をお借りして感謝申し上げます。

以上の取り組み活動を委員会メンバー、そして会員各位のご協力で実施することができております。委員会、会員一人一人の奉仕に対する意識が強く感じられます。

これからも変わらず当クラブは奉仕の理想に基づき取り組んでいきます。

榎木田大資君 クラブの強みと弱み (クラブが抱えている問題)

強みは歴史と事業

日南ロータリークラブは1954年6月17日に創立いたしました。来年2024年6月15日に創立70周年記念式典を開催いたします。現在、竹井実行委員長のもと準備に取りかかっているところでございます。池ノ上ガバナーにおかれましては、是非、創立70周年記念式典にご出席いただき、ご祝辞を賜れば幸いでございます。

そして、事業は「わかば奨学会」は設立20周年を迎えます。目的は日南地域で学ぶ優秀な高校生、専門学校生に資金援助を行い、社会貢献に意欲を燃やす生徒の育成にあります。これまで100名ほどの生徒に奨学金を支給してまいりました。「わかば奨学会」は、主に会員からの寄付金と地区からの補助

金で運営しております。そして、当クラブは、これからも社会に奉仕する団体として「奉仕プロジェクト」を 推進していきます。特に青少年育成に力を注いで参ります。若者の夢と希望を育てていくことは、今を生きる 大人のたちの責任だと思います。2024年度奨学生は、設立20周年を記念して20名の生徒さんに支給したいと計 画しております。2024年度補助金申請にはその旨のプロジェクト内容を織り込みたいと思います。何卒、よろ しくお願い致します。

弱み・問題はどこも抱えている会員の増強

課題は会員の増強だと思います。

私はRCに入ってよかったです。

私は青年会議所、法人会青年部などに入会していました。この二つの団体は年齢制限があり横の繋がりはできました。しかしロータリークラブは卒業がありませんので縦の繋がりができました。私は小学校までしか日南にいなかったので、先輩たちから昔の話や色々な話を聞けて勉強になりました。

日南RCは地域の宝である子供たちにわかば奨学金や高校生模擬面接をしてこの地域になくてはいけない存在です。

会員の増強で一番大切な事はロータリアン一人一人が増えれば地域の力になるこの地域は未来から借りているものだから未来に地域をよくして帰さないといけないと考えています。「奉仕をしようみんなの人生を豊かにするために」を心に刻み今後会員増強活動をしようと思います。

最後に、池ノ上ガバナーの益々のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

ガバナーアドレス

クラブ奉仕の取組については、社会に職業を通して奉仕することが職業奉仕と考えます、それから付随して 社会に貢献する社会奉仕、青少年の教育の場等を通じて青少年を育成する青少年奉仕、世界に向けていろいろ なことに奉仕する国際奉仕だと考えます、活動頑張ってください。

卒業の無いロータリークラブは、先輩たちの意見を多く聞くことのできる集まりです。「卒業がなく縦のつながりが出来る」名言だと思います。これからも日南ロータリークラブからの発信をお願いします。



事務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515 会長:黒岩久登 副会長:簗瀬 敦 幹事:井野畑善順 雑誌会報広報委員長:河野通郎

雑誌会報広報委員会より 原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。